

拠出金名:国際連合女性関係拠出金

国際機関等名	国連婦人開発基金 (英文名称・略称) United Nations Fund for Women (UNIFEM)				
種 別	国連(事務局)	(国連(基金・計画))		国連専門機関	その他
所管官庁担当局課名	外務省総合外交政策局人権人道課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成21年度	66,834	649		1米ドル=103円	100
平成20年度	73,323	649		1米ドル=113円	100
平成19年度	77,865	671		1米ドル=116円	100
当該拠出金の目的・用途等	女性の地位向上のための活動の実施及び活動に対する支援等				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2009年のもの)				国際機関等の財政 (2009年度決算)	
	国 名	金 額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 367,292千米ドル	
1位	スペイン	23,789	35.5	当該年度の支出 139,658千米ドル	
2位	ノルウェー	11,738	17.5	次年度への繰越 227,634千米ドル	
3位	英国	4,800	7.2	会計検査機関名	
4位	米国	4,491	6.7	会計検査委員会、UNDP監視・監査審査部	
5位	スウェーデン	3,214	4.8		
日本は17位、拠出率は1.0%					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
ジェンダーの視点は国連の経済社会分野のみならず、紛争予防・解決・復興の分野等でも重要となっており、UNIFEMが他の国連機関との共同事業へ参加し、また本部、地域、国レベルでジェンダー事業に係るリーダーシップをとっていることを評価する。UNIFEMを含む国連ジェンダー関連4機関を統合した新たな機関(UN Women)が平成23年1月に設立されるなど国際社会におけるジェンダー分野への関心は益々高まっている中、我が国はジェンダーと開発(GAD)イニシアティブを発表するなどジェンダー主流化の取組を推進してきたが、これまでの取組を一層強力に推進するためには、国連女性関係拠出金を通じたUNIFEMとの協力関係をさらに深めていく必要がある。					
邦人職員数 うち幹部以上	4人 うち 0人		当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	339人 1.2%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
今後も邦人職員採用に対する働きかけを継続していく。JPOの送り込みも積極的に行っていく。					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。